

☆日芸協中部（当会） 総会

5月3日（土）日本特殊陶業市民会館（名古屋市中区）にて10時より開催されました。戸田理事長の開会宣言で、総会員数500人のうち出席者460人（委任状を含む）でもって総会成立が報告されました。大澤会長の挨拶の後、議長に戸田理事長が選出されました。第1号議案2024年度事業・決算報告について伊藤事務局長から説明の後、小林監査役から適正であるとの報告があり、賛成多数で承認されました。第2号議案2025年度事業計画・予算案についても賛成多数で承認されました。第3号議案の会則改正は、現行の会則が名誉会員、名誉会長の総会における議決権が不明確な部分があり、東京本部の会則に合わせて改正するもので、承認されました。

今年度の主な事業は、第36回日芸協中部コンサート（ゲストはスマイル マミンカ）、アンデパンダン発表会は節目の第30回の開催に当たりゲストにプロ演奏者をお招きします。研修会はVarious研修会（同日に複数講座を開催し、受講者は複数の講座を受講）と個別研修会として「独奏曲演奏技法研修会」を開催いたします。

議事終了後、大澤会長より師範合格者3人、準師範合格者2人と出口壽さんの日本ハーモニカ賞受賞の紹介がありました。（詳細別途）又、戸田理事長より、ハーモニカ誕生200年、佐藤秀廊先生が世界大会で優勝されて100年となる2027年に「日本ハーモニカまつり2027」が開催されるとの報告がありました。

☆独奏曲演奏技法研修会

6月29日（日）に、加藤精吾さん（当会の名誉会長）を講師にお迎えし、大府市の愛三文化会館で開催されました。55人の参加者が、よりよい演奏をするためのコツを身に着けようと熱心に受講しました。講義の最初に、ハーモニカのメンテナンスの大切さについてふれ「自分がどんな音色を出しているかに十分に神経を使ってほしい」と話されました。その後、今年度の準師範、及び師範試験課題曲それぞれについて、楽曲の構造と演奏上のポイントを詳しく解説されました。「夕やけ小やけ変奏曲」では、飛躍奏法の2種類のやり方やヴァイオリン奏法で気を付けること、グリッサンド奏法では最低音を確認すること等の説明がありました。「旅愁の夢」では、テヌートがついた音は音をまっすぐに出すことや、次のフレーズへの移り方、フェルマータがついた休符のとらえ方などを詳しく教えていただきました。

最後に、演奏するときは肩の力を抜いて演奏することが大事だと話されました。



☆日本ハーモニカ芸術協会（本部）総会

4月21日（月）東京・日暮里サニーホールで開催されました。

田邊会長の挨拶に続き、加藤精吾理事長（当会名誉会長）が議長に選出され、議事が進められました。

第1号議案2024年度事業及び決算報告の承認、及び第2号議案2025年度事業計画及び予算（案）が原案の通り可決され、2025年度事業計画及び予算が成立しました。

第3号議案 理事の選任について 2名の方の退任と2名の方の理事選任が原案の通り承認されました。

第4号議案「日本ハーモニカまつり2027」について 2027年の「ハーモニカ生誕200年」「佐藤秀廊世界コンクール優勝100年」に向けた全国規模の事業実施について、事業計画及び概算予算が原案の通り承認されました。

議事終了後、新任理事の辞令交付及びグレード認定証授与等がありました。

その他、九州支部連合会が4月1日に設立された旨、田邊会長より報告がありました。

また、大澤組織局長（当会 会長）から会員増強策の一環として、本年度新規入会者に対して田邊会長から寄贈（100冊）された「思い通りに奏でる複音ハーモニカ上達のコツ50」（田邊峯光監修）を呈呈するキャンペーンを実施する旨の報告がありました。

2025春のハーモニカ祭り

総会終了後、恒例の「2025春のハーモニカまつり」が同会場において開催されました。

当会からは、2024年度複音ハーモニカコンクール「シニアの部」で第1位に入賞された辻豊志さん、ゲスト演奏では当会の「トリオ99」（岩田雅子・大澤龍己・森正義）が出演しました。

☆第47回 日本ハーモニカ賞

4月20日（日）全日本ハーモニカ連盟「ハーモニカ・フォーラム2025」が東京・日暮里で開催され、出口 壽さん（当会顧問、日本ハーモニカ芸術協会四日市支部長）が「日本ハーモニカ賞」を受賞されました。

☆第43回 FIH ハーモニカコンテスト

6月7日（土）全電通ホール（東京・御茶ノ水）で決勝ライブが開催されました。当会会員では、複音ソロ部門で柴山真由美さん（名古屋市）が第1位（演奏曲：The Celebrated Chop Waltz）、辻豊志さん（豊川市）が第3位（演奏曲：宵待草幻想曲）を受賞されました。

☆第19回 三河ハーモニカ演奏会

5月25日(日)刈谷市総合文化センター 小ホールで開催され、来場者は250人でした。合奏12組、重奏7組、独奏18人が日頃の練習成果を元気に披露されていました。特にエンジョイ島坂グループは10人で平均年齢80才との事でしたが椅子も使って楽しく演奏しました。今年も子供さんの出演が多く7人の斉奏、ご家族での3重奏+タンバリン、独奏3人もあり会場の雰囲気も和みました。最後は松山3兄弟が、夫々独奏で難度の高い「ウィリアムテルのフィナーレ」等に挑戦されました。今年の師範昇格者の鈴木和子さんの「さくらのワルツ」、昨年の複音ハーモニカコンクール シニア部門 第1位受賞者 辻 豊志さんの「宵待草幻想曲」で会場が盛り上がりました。

(寄稿：西口正明さん)



☆第19回 全知多ハーモニカ演奏会

6月15日(日)13時より知多支部主催により、半田市の「アイプラザ半田」にて開催されました。事前の天気予報では、大雨との予報でしたが、当日は天気も心配なく無事に開催することが出来、大変有り難い事でした。演奏会は辰巳春美さんの軽快な司会で始まり、二重奏及び三重奏が各1組、四重奏4組、合奏6組及び独奏16人で延べ85人が日頃の練習の成果を力いっぱい発表しました。一般のお客様258人と大勢来場して頂き、プログラムの休憩時間には演奏者と観客席のお客様が一体となり

「浜千鳥」を全員合唱し、大いに盛り上がりました。会場全体が一つになってのコンサート、楽しく無事閉会しました。

(寄稿：澤田義廣さん)



☆第1回 ハレの日コンサート (岐阜支部)

長年の念願だった岐阜支部主催のコンサートが、3月9日に”やっと”実現できました。

JR岐阜駅に隣接する「岐阜市生涯学習施設」で約2時間。演奏者18人、観客19人の本当に小規模のコンサートです。独奏、二重奏、三重奏、四重奏、そして全体合奏とバラエティにとんだ演奏形態で「早春賦」「水色のワルツ」「哀愁列車」「サンタルチア」など全21曲を終始楽しい雰囲気披露し、ハーモニカを学習してきた成果を存分に発揮することができました。観客の皆様にも歌や手拍子で参加いただき音楽を通して会場全体の一体感を感じることもできました。ゲストには、小野俊子さん(デュオきらきらぼし)をお招きし独奏や二重奏で魅了していただきました。

開催に向けて会員の方はもちろん、そのご家族の方までも多くのご協力を得て実現できたコンサートでしたので、終了時の満足感は本当に大きなものであります。来年はどんなコンサートが開催できるか、会員はすでにスタートラインをきって走り出しています！



(寄稿：岩田雅子さん)

◇ グレード認定等のお知らせ ◇

2025年4月 中部支部関係分

【初級】★栄中日(入門・初級)=坪井良子 ★さくらハーモニカ=浅野喜美 ★旭森川教室=洞谷亜里佐、加藤千美

【中級】★ハーモニカ=宮=玉田真人 ★東海ハーモニカ=野々山由信 ★さくらハーモニカ=牧野敏信 ★旭森川教室=鯉川敬一郎

【上級】★旭森川教室=小川久代

【研究科】★はもにか教室=公下明音

【準師範】市田俊一(愛知)、池多進(石川)

【師範】小谷直美(愛知)、鈴木和子(愛知)、草深茂(三重)

◆ イベントカレンダー ◆

2025年8月1日現在

開催日	内容	開始時間	会場	備考
9月9日(火)	トリオ99岐阜コンサート	13時	ぎふメディアコスモス みんなのホール	
10月11日(土)	第20回 なごやハーモニカ演奏会	12時30分	名古屋市天白文化小劇場	
10月19日(日)	第3回 三重ハーモニカ街道演奏会	13時	鈴鹿市ふれあいホール	
10月25日(土)	Various(多種講座)研修会	9時30分	大府市愛三文化会館	有料
10月26日(日)	第10回 ピュアハーモニカコンサート	13時	セラミックパークMINO(多治見市)	
11月3日(月)	第14回 ハーモニカふれあいコンサート	13時	ヤマカまなびパーク(多治見市)	
11月13日(木)	第10回 豊橋ハーモニカ愛好会交歓演奏会	12時30分	豊橋市公会堂	
11月15日(土)	第15回 複音ハーモニカコンクール	13時	スクエア荏原ひらつかホール(東京都品川区)	
2026年2月1日(日)	第30回 ハーモニカアンデパンダン発表会	12時30分	名古屋市天白文化小劇場	
<その他中部地区の演奏会予定>				
開催日	内容	開演時間	会場	備考
9月21日(日)	秋の中部ハーモニカ連盟コンサート	12時30分	名古屋市天白文化小劇場	